

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス つくしんぼ		
○保護者評価実施期間	R7年1月24日		R7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年1月24日		R7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置を十分に行うことで、担当制にすることができ、利用児童さんに細かく目が行き届くこと、また個別の対応が可能なこと。	職員の人数が多くなることで、児童さんに対して声かけや刺激が多くなり過ぎないようにしている。 職員会議やミーティング等で、情報共有をこまめに行っている。 職員研修の機会を多く設けることで、職員の資質の向上を目指している。	研修や支援プログラム等のツールを導入し、職員の業務負担の軽減や気軽に研修を受けられる環境を整える。 ミーティングの内容を充実させる。
2	津和野方面のご自宅まで送迎を行うことで安心して利用していただけること。	人数に応じ、運転手に加え見守りの職員をつけることで安全に送迎を行うことができる。	送迎に必要な人員の確保。
3	学年によって活動場所、内容を区別することができ、広い中庭があることでのびのびと過ごしていただけること。	1～4年生、5年生～高校生と分けることで身に付けるべきことが違うため、目標を意識して活動を決めている。 見通しを伝えることで活動と遊びのメリハリをつけている。 外部講師やボランティアに入ってもらうことで、多方面からの気づきを得たり、活動の幅が広がっている。	全学年合同で活動を行う際に、特に高学年の児童さんに役割分担をしてもらい、目標を意識し活動に参加してもらえるようにする。 引き続きボランティア等の募集の呼びかけを行い、地域に事業所を知ってもらおう。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普段ご家族と対面でのコミュニケーションの機会が少ないこと。	ご自宅まで送迎を行っていることで、ご家族とゆっくりお話をする機会が少なく、保護者様やきょうだい児さんへの支援に繋がりにくい。	ご家族が気兼ねなく参加できるようなイベントや交流の機会を増やす。 また電話等での連絡をこまめに行う。
2	施設外での活動を行う際に、移動が長距離になってしまうこと。事業所の認知度がまだまだ低いこと。	立地的に中心街から距離があること、また他の市町村とも距離があること。 事業所が中心街から距離があることや、事業所のPR不足のため、地域に認知度がまだまだ低い。	施設外での活動を行う際に、利用児童さんの負担のかからない移動方法を考えることや、長距離の移動の際には休憩場所を設けるなど工夫する。 地域に対し、事業所について広く知っていただけるよう、展示や行事へ積極的に参加をしたり、PRを行う。
3	療育を行う上で専門職の見立てができない。	PT、OT、ST等の配置がない。	必要に応じて、職員が訓練の同行が出来るよう、保護者さんに依頼したり、内容についてご家族や学校等と共有を行う。